

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本史 A	
科目基礎情報							
科目番号	0092			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	詳説日本史改訂版（山川出版社） 図説日本史通覧（帝国書店）						
担当教員	岩元 修一						
到達目標							
①欧米諸国が、19世紀までに、日本及び世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。 ②20世紀の二つの大戦に至る日本及び世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。 ③19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	欧米諸国が、19世紀までに、日本及び世界を一体化していく過程について、8割以上の基礎的知識をもとに論理的に説明できる。		欧米諸国が、19世紀までに、日本及び世界を一体化していく過程について、7割台の基礎的知識をもとに説明できる。		欧米諸国が、19世紀までに、日本及び世界を一体化していく過程について、6割台の基礎的知識をもとに説明できる。		欧米諸国が、19世紀までに、日本及び世界を一体化していく過程について、6割の基礎的知識をもとに説明できない。
評価項目2	20世紀の二つの大戦に至る日本及び世界の動向の概要を説明し、平和の意義について、8割以上の基礎的知識をもとに論理的に説明できる。		20世紀の二つの大戦に至る日本及び世界の動向の概要を説明し、平和の意義について、7割台の基礎的知識をもとに説明できる。		20世紀の二つの大戦に至る日本及び世界の動向の概要を説明し、平和の意義について、6割台の基礎的知識をもとに説明できる。		20世紀の二つの大戦に至る日本及び世界の動向の概要を説明し、平和の意義について、6割の基礎的知識をもとに説明できない。
評価項目3	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、8割以上の基礎知識をもとに論理的に説明できる。		19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、7割台の基礎知識をもとに説明できる。		19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、6割台の基礎知識をもとに説明できる。		19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、6割の基礎知識をもとに説明できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第3学期開講 歴史は過去を対象とします。過去は現在と異なりますから、いわば別世界ともいえます。現在と異なる別の世界（過去）と向き合うことで、現在とは異なる文化や考え方にも出会えるでしょう。歴史に学ぶことで、人間を理解する航海に出てみましょう。						
授業の進め方・方法	上記の教科書・教材を主に使い、配布する授業プリントに記した概要に即して授業を進めます。配布プリントは、当日の学習内容の概要を記したものです。授業のすべてを事前にまとめたものではありませんし、授業内容をすべて記入出来るスペースが用意されてもいません。毎回、プリントを補足する内容を板書しながら説明を加え、時に班ごとに、あるいは個別に発表してもらい、教科書や資料を読んでもらいます。ノートを用意して、授業プリントを見開きの左側に貼付し、右側に板書や要点を記入していくなど、工夫をお願いします。理解度を確認するために、授業中に小テストを実施することがあります。また、一定の内容についてレポートを提出してもらいます。中間試験は実施しません。再試も予定していません。						
注意点	①評価の4割は講義の学習内容を学期末試験で確認します。授業では教科書・副読本を使った説明をよく聞き、講義をしっかり理解し自分の言葉で内容を説明できるようになって下さい。②残りの評価のうち、2割ほどはレポートです。必ず期限までに提出して下さい。③2割ほどは小テスト・課題で評価します。必ず期限までに提出して下さい。④最後の2割ほどは授業中、教員が口頭でいろいろ関連項目を質問して口頭で発表してもらったり、課題を班ごとに発表してもらうことがあります。発表内容で評価します。④なお、欠席状況は各自で担当教員に尋ね確認してください。⑤再試験は予定していませんので注意してください。⑥教科書・副教材は必ず持参して下さい（忘れたり借りたりは減点の対象になります）。あわせて授業態度も評価の対象とします。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業概要の説明。地球環境の変化と日本列島の成立（1）。			シラバスの内容を説明できる。地球環境の面から列島の変化を説明できる。	
		2週	地球環境の変化と日本列島の成立（2）			日本人の祖先はいつ頃、どのような自然環境の日本にやってきたのか、どのような生活を送っていたのか説明できる。	
		3週	人口からみた日本			時代と人口の推移との関わりを説明できる。	
		4週	日本の成立			日本史で学ぶ日本の成立について説明できる。	
		5週	江戸幕府の成立			江戸時代の仕組みを説明できる。	
		6週	寺社と幕府			江戸時代の幕府と寺社の関係について説明できる。	
		7週	江戸時代の外交			江戸時代の対外関係について説明できる。	
		8週	中間まとめ			前半の内容を整理する。	
	4thQ	9週	中間まとめの解答と復習			中間まとめの返却と解答。あわせて復習を行う。	
		10週	幕府の対外関係と世界			世界情勢と関連させながら幕府が従来の外国との関係を維持できなくなる過程を説明できる。	
		11週	江戸時代の国内の仕組みの変容			国内の仕組みがどのように変容していくのか、説明できる。	
		12週	開港、倒幕			幕末の開港と倒幕の動きについて説明できる。	
		13週	明治初期の日本			新政府の成立と諸改革についてを説明できる。	
		14週	明治初期の外交			明治初期の外交について説明できる。	
		15週	学期末試験				
		16週	答案返却				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3		
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3		
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3		
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3		
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3		
評価割合							
	試験	課題	中間まとめ	発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	19	22	19	0	0	100
基礎的能力	40	19	22	19	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0